



五年目を迎えた

文化講演会始まる

組織拡大への活用が課題

友愛文化講演會は、昭和十四年に現代社の總編輯である「テー」のもとに、尾形嘉兵衛（元幹事長、現津田塾大學）の手で始められた。以来、長田正虎君、永田清成中常任委員長三代にわたって引き継がれて、本連盟最大の事業の一つである。

尾形氏はこの事業の開始にあたって「二十世紀向けに多くの人間にひびきかけ、共通の基盤を生み出すことに重なる意義を具し出し、敢て進言を怠さず」と友愛文化講演會開催の決意を述べた。

四十七年が明日の日を考えると、四十七年「今日の課題明日の進路」、四十七年「愚かれば榮えつつは進めしむる」各

講演は、まず、政治経済家孝太郎が立ち、「インフレーションしてはならぬ第三者」は、高知大教授の兼宗に

連帯感の強化に行かなくてはならぬ、それによって人間間の蔽を柱とする人間中の社の建設に、若い青年の力にすぎなからせよとの趣意で述べたものである。

九十八日高知市を皮切りに、九日陽明市、十日兼敷市と、それぞれ榮えつつは進めしむる、各

那覇

愛がテーマである。

今回のテーマは、青年が精神の受手であるものの、場面に缺陥の物心周囲に在る幾分社会の建設の担い手として、主体的に行動するために、創造性・高知、相の接接があった。

高知

午後七時、鎌倉喜一郎高知事務局長の会では、本郷代表の田泰一事務局長の挨拶がついて、地元師の加し、

沖縄に県連結される

新生沖縄は、僅後二年を越えし、新しい体制の下、再建日夜努力を重ね、新生生まれあうとしてゐる。

本連盟幹部会（支部長：亀川博邦）も昭和四十二年秋迄に於て、

来、幾多の困難にも負けず、組織を拡大し、宮古島支部員数、支部長・伊倉栄栄を、統括し、各地域組織及び事業に始めとして、力を入れている。か設置するに至つて、

そして今日では、沖縄地方には、有数の青少年団体に一つと發展し、青少年行政機関においても強い影響力を持つてゐる。

この新しい沖縄の発展と共に、本連盟七重の県境まで、

改めて自由の再考を

本連盟の名称(先)の第千回全国大会で改称され、早五カ月の月日が経ち、呼び方も漸く被に付てきたよである。

永年馴んできた同窓会の名も一部会員、〇日はますます接近切なるものがあるが、しかし全関係志は、新しいイデオロギにて広く伝わり、新組織経緯と地域上りにより衰えれる方向へ変遷して居る。新しい制度の下その浸透が功を成し懸てきている証である。

故鳩山一郎先生追志を継いで、その振がりを

を友愛運動とし掲げ、茲々日本の青少年生活運動の重鎮として占める位置も高くなつて居る。

本部事業として実施している、愛郷文化講演会も、抱てではあるが地域の文化度にも存する貢獻として、算入は成績と掲げて居る。

一方、社会目を見せず、是の頃の内外外における問題について、諸難題と考へみはれたるはなれた問題と山積し、湿惑の感懷を連出しして居る。

連のマスコミ等で報らわれているニュースをとつてみても、明るものではなく、暗い紙

(11) われわれの思想的な裏付けとしての自由
 というのを考えてみると、歪曲された形で現
 された場合が多く、各自のエゴイズムの中か
 ら出てくる個人の自由の喜劇が現代を風刺して
 るものにも思われる。

環境保全に拘束しても、日本の狭い国土
 過密な規模、国民が生活している。自然環境保
 護が叫ばれているが、その過密に対応する社
 会的環境作りが極めて少ない。新しいビジョンが作
 れても、何の軌道に乗せることができない。
 「健全な環境には、非対称困難」であるが、

害が絶えず一向に進展がなれない状態である。相の歩み寄りを求めるのは、強力的愛精神の進歩が、必要になつてゐるのである。それには、各人が個人の自らの意義を破断し、正しい理解の立場に立つて之を運用し、利得失を、今一度解居を立ち返つて十分に見直し、共存共栄を成立させる自由といふものが生まれてゐる。

この期にちよひ、今後のわれわれの運動の爲めの一つの課題として、今を考へ直さねばならない。

◆「ラジヲを聴すだけにでなく、ひとと面会下さい。」「こんにちは」「聞きて来て下さい。」「……」。これと人とのふれあひのある生活。これが最良のものである。人間性に根ざす運動を通じて、友愛社会の建設を自らの手で進めたい。友愛運動の間隙を欠いては友愛運動はない。

明日の日本を築く技術者

鹿島出版会

東京都港区赤坂6-5-7

一八歳でオーストリア貴族へ嫁した明治の女、光子は七人の子の母として三度で夫と死別。「ヨーロッパ共同体」の魂を育てたこの母と子の物語りは、すべての人びとを感動させるにちがいない。



過、幾多の困難にも負けず、組織を拡大し、宮古島に平良支部（支部長・伊倉栄吉）を結成し、各沖縄群島八重山を始めとして、地区をいくつか設置するに至つた。

この新本連盟と

日では、沖縄地方では、年団体として発展し、の間にわたって強い発に至っている。

い沖縄の歴史と共に、道首の果敢として、さ

解決を迫られている重要な問題であるとして、問われている。

マスコミ等によって報道されている道首は、自ら

相談役	嶺井 政治
会長	崎山 喜望銀
副会長	玉里 博立
幹事長	王那 秀子銀
	与那 好晴

◆我々の無活動を果るもの
のには、少なくとも三つの
ポイントがある。一つは、メ
ンバの意欲である。二つは、行
おとする動への意識付けによ
て生まれる。三つ目は、メンバ
の行動力であり、意欲がそれを
可能にする。最後に物とて言
うもので、宣傳媒体の供給能力で
ある。物力だけでなく、ものこ


 国有識者の国際政治感覚に大
 きな寄与をすることを確認し
 ている。

沖繩に県連結成マ
宮古300キロ結
二 徳島県、徳島学生部などの全
一 徳島県、徳島学生部などの全
日 徳島県、徳島学生部などの全
源 徳島県、徳島学生部などの全
は、熱心
アンケー
通りであ
あった。

「でも」「おもしろく期待した」との喜びが多数で

新緑の季節、
 中心として
 出発する。対
 後の主眼
 があつた
 琉球大学

椎の反応を打取る。ツウ・ウ
 キーは「エー・エー・エー」しま
 り笑いながらはならない。

◆ 講壇会の翌日には、青年が一
 方の結果の手で夢を立場場に
 脱し、「……」と……
 が呼びかけられていて、自分が
 一時的な受け手になることを望ま
 ずはなす。まして、友愛運
 動の参加をすすむにおいてはな
 らない。

高知支部は、支部長長川口君が事故で入院中であり、また初めて講演会に取組む会員が多いなどの悪条件を乗り越え、かなりの成果を上げる事ができたようである。

鳴門市
陽明駅に近い、陽明市青年会館が講演会場となり、実施した。事つた下坂町(安藝)の岸田大蔵氏

意見交換
われだ

敷敷敷
清中磨
常任委員
者等が協賛

岡山県知
なれだ
午後三時
始まりました
が終了は

市
市中央委員、霧崎中央
羽洲王子、岳地区責任
として、佐々木郎氏、前
加藤寛貞氏を招いて行
つた。田中君の司会
佐氏、加藤氏の順で講
演した。市中央委員、霧崎中央
羽洲王子、岳地区責任
として、佐々木郎氏、前
加藤寛貞氏を招いて行
つた。田中君の司会
佐氏、加藤氏の順で講
演した。

の八月十九日(日)午後
朝霧市の中郷福祉社会会
議室において、沖崎孝幸
の結成大会を開催した。
結成大会は、下池田町
の辞に始まり、亀川舟
田中君の司会

西時ちり
ンター会
運送台会

君の関合
君の煩悩

沖繩

衆に宛らるゝのである。特に若
者に成々の存在を訴へかけ、参加
を促さねばならぬが、それだけ
の事業を施する意は薄れ
る。それは、ひとえに宣傳活動へ
の努力に負つたのであらう。それ
も力進行ではなかつた。ポスタ
ーも指示する、チラシをりがり
と人々に渡す、それでは他人を
引きつけることはできない。声を
かけ、気持をかきよめ、さらに

- 2 女性の使命・他 鹿島守之助・深津菜一 訳
- 3 実践的理想主義・倫理と超倫理／人生の戒律 鹿島守之助 訳
- 4 物質主義からの離脱 鹿島守之助 訳
- 5 ヨーロッパの三つの魂／悲愴なきヨーロッパ／ゼントルム 鹿島守之助 訳
- 6 自由と人生／友愛の世界革命／戦争から平和へ 鳩山一郎 鹿島守之助・深津菜一 訳
- 7 回想録 鹿島守之助 訳
- 8 第一回鹿島平和賞受賞記録

加月間です。

の日」を中心に募集事
下ろこ。

氏で、廣道は「認識の歪曲なくし
て未来社会はない」であつた。聴
衆は、西氏の意見に遠いが見られて
たりしたため、特に興味を持てな
かつた。

つめか
摩吉の司
七時半か
入り、ま
郎氏が行
つて中
盟参与が
た。

こころで
主眼に違
て、聴衆

いた。
 雲午後
 う露館に
 儀孝太
 ないつ
 仍部彦
 講演し
 も同氏の
 いが出
 活延な

◆この事業の発端は、すでに言いつくれている。諸団体のものからすべし、効果からではない。友愛青年連盟は、く大

全思想体系を集成大成した決定版

クレーデンホーフ・
カレルギー全集

全9巻完結ノ・A5判各一、〇〇〇円

1 クレーデンホーフ人・思想・行動
パン・ヨーロッパ 鹿島守之助訳編

2 ミロツ國典・ミロツの統合・ミロツにお

の
日

には
若
著
は
か

蔵前後の
りが多数

◆友愛文化講演会が
始まった。過去四年間

新たな溝壑のもとに、

11月18日は統一事業の日
11月は会員増加月間です。
15日の「友愛の日」を中心に募集事業を計画して下さい。

若者はかりが多敷
つめかけていた。
岸君の司会で午後
七時半から講堂に
入り、まず榎孝太
郎氏が行ない、つ

が嶋山新会長)

直言

始まった。過去四年間に目撃して実感した実績は、何といっても本連盟の一大事業家と言え、そして今、まだ二十余会場の開館が計画中であり、我

新たな構想のもとに、全思想体系を集大成した決定版

クレーデンホーフ・カールギー全集

明日性と筆を交す鹿島出版会 東京都港 赤坂6-5-

一八歳でオーストリア貴族へ嫁した明治の女。光子は七人の子の母として三歳で夫と死別。「ヨーロッパ共同体」の魂を育んだこの母と子の物語りは、すべての人びとを感動させるべきでない。




 国有識者の国際政治感覚に大きな寄与をすることを確認している。

クーデンホーフ
光子伝
 木村 毅著
 一〇〇〇円

2	「女の使命」・他 鹿島守之助・深津来一訳
3	実践的理想主義・倫理と超倫理 鹿島守之助の戒律
4	物質主義からの離脱 技術による革命 鹿島守之助訳
5	ヨーロッパの三つの魂・悲惨なネギロツバ／ゼントルマン 鹿島守之助訳
6	自由と人生・友愛の世界革命／戦争から平和へ 鳩山一郎・鹿島守之助・深津来一訳
7	回想録 鹿島守之助訳

第一回鹿島平和賞受賞記録

全思想体系を集成大成した決定版
クレーデンホーフ・
カレルギー全集
全9巻完結 / A5判 各二、〇〇〇円
1 クレーデンホーフ人・思想・行動
パン・ヨーロッパ
ヨーロッパ国群ヨーロッパの統合 / ヨーロッパにお

新たな構図のもとに、

